

交付運用報告書

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「日立外国債券インデックスファンド」は、このたび、第24期の決算を行いました。

当ファンドは、外国債券を実質的な主要投資対象として中長期的に信託財産の成長を目指して運用を行うことを基本とし、FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ベンチマークの動きに連動する投資成果を目指して運用を行いました。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告いたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

日立外国債券インデックスファンド

追加型投信／海外／債券／インデックス型

第24期
（決算日2025年5月15日）

作成対象期間：
（2024年5月16日～2025年5月15日）

第24期末(2025年5月15日)	
基準価額	25,709円
純資産総額	16,725百万円
第24期	
騰落率	△ 1.9%
分配金(税込み)合計	－円

当ファンドは、約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めています。「運用報告書(全体版)」は、右記ホームページアドレスの「ファンド情報」から、ご覧いただけます。運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付を請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

日立投資顧問株式会社

東京都台東区東上野二丁目16番1号

＜交付運用報告書に関するお問い合わせ先＞

管理グループ TEL：(03)6626-5691

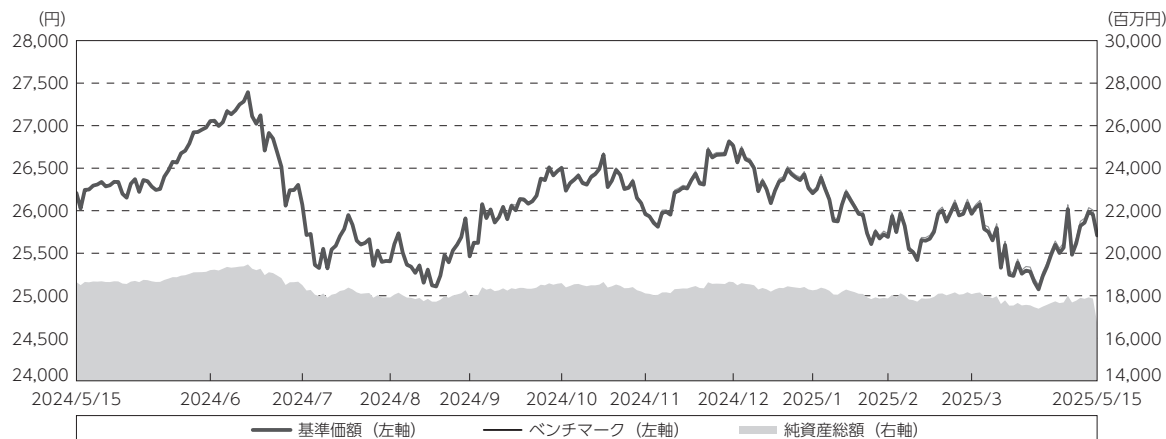
受付時間：9：00～17：00

土、日、祝日および12月31日～1月3日を除く

ホームページアドレス <http://www.hitachi-im.co.jp>

運用経過

基準価額等の推移



期 首：26,208円

期 末：25,709円 (既払分配金 (税込み)：－円)

騰落率：△ 1.9%

(注) ベンチマークは、期首 (2024年5月15日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) ベンチマークは、FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) です。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

E C Bの金融緩和策への期待などからイタリアが金利低下したこと、24年10月から年末にかけての円安などがプラスに影響しました。

<下落要因>

財政拡張に舵を切ったドイツなど世界的に金利上昇したこと、各国の中央銀行が利下げに動く一方、日銀は利上げを実施するなど金融政策の方向性格差から円高となったことがマイナスに影響しました。

1 万口当たりの費用明細

(2024年5月16日～2025年5月15日)

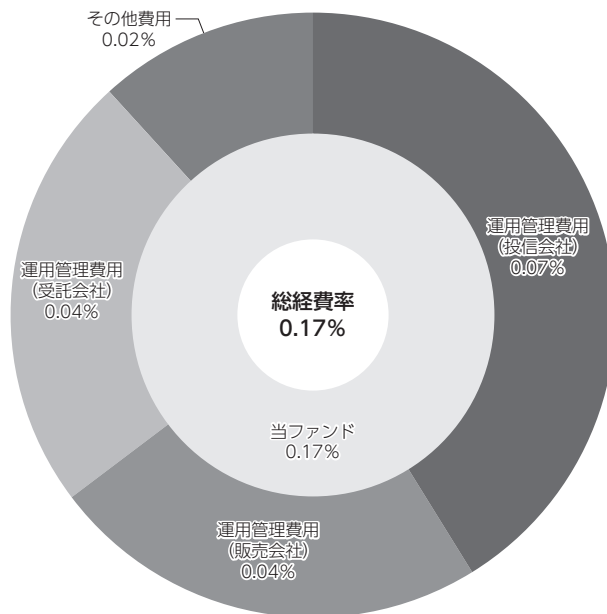
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	40	0.154	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(18)	(0.069)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0.041)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(11)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.021	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(6)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	
合 計	46	0.175	
期中の平均基準価額は、26,061円です。			

(注) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 「比率」欄は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。
(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.17%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

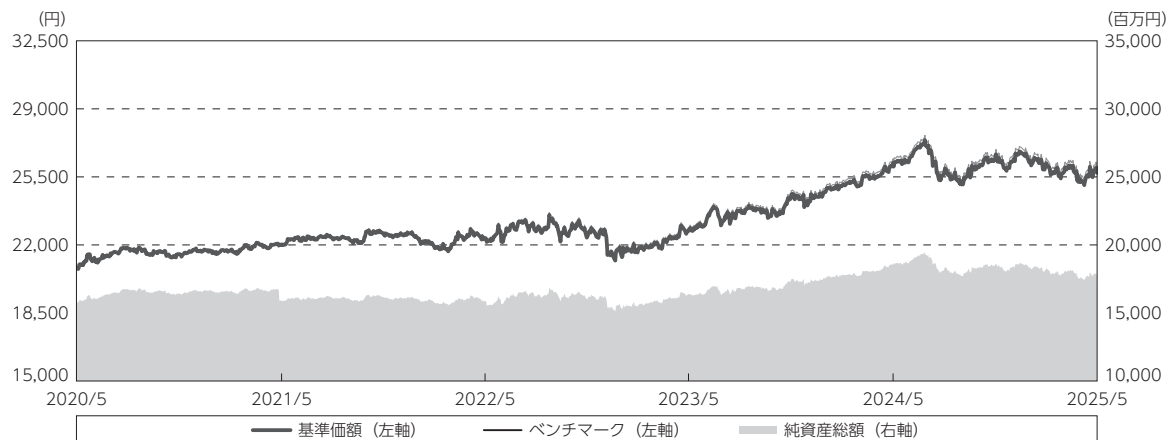
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年5月15日～2025年5月15日)



(注) ベンチマークは、2020年5月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年5月15日 決算日	2021年5月17日 決算日	2022年5月16日 決算日	2023年5月15日 決算日	2024年5月15日 決算日	2025年5月15日 決算日
基準価額 (円)	20,833	22,028	22,332	22,754	26,208	25,709
基準価額騰落率 (%)	—	5.7	1.4	1.9	15.2	△ 1.9
ベンチマーク騰落率 (%)	—	6.0	1.6	2.1	15.5	△ 1.7
純資産総額 (百万円)	15,815	15,910	15,873	16,392	18,643	16,725

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) ベンチマークは、FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）です。

投資環境

当期、ベンチマークインデックスは期初から円安を追い風に上昇し、収益率は一時4%を上回りました。しかし24年8月初には株価の急落とともに円高に転じたことから5%近いマイナスに落ち込みました。10月以降は再び円安に転じ、プラスに回復する局面も見られましたが、欧米長期金利上昇が頭を抑えました。25年1月のトランプ大統領就任以降は円高が進行し、通期では小幅のマイナスで終わりました。

米国金利

米長期金利は、期初は概ね横ばいで推移しましたが、24年8月初の株価急落とともに3%台半ばまで急低下しました。F R Bは9月F O M Cで予想外の0.5%の大幅利下げに動き、11月、12月にも0.25%の利下げを決定しましたが、秋あたりから堅調な経済指標が見られ始め、利下げ開始とともに長期金利は上昇に向かい、25年1月には一時4.8%付近まで上昇しました。その後、トランプ政権による強硬な関税政策等への懸念から再び低下したものの、4月初には想定を上回る相互関税の発表に加え、大統領がパウエルF R B議長解任を示唆したこともあり、不確実性の高まりとともに上昇し、結局通期では小幅上昇となりました。

ユーロ金利

E C Bは米国に先駆け24年6月に利下げを開始、7月は据え置いたものの9月から3月まで5会合連続で利下げを実施しました。長期金利は7月あたりから低下に向かい、イタリア等の対ドイツ国債利回り格差は縮小しました。ただし政治的混乱等からフランス国債の対ドイツ国債利回り格差はやや拡大しました。年末あたりからは米国長期金利の上昇が波及し反転、25年3月にはドイツが財政拡張に舵を切ったことから急上昇しました。しかしその後は米国の関税による景気先行き不安が高まり低下、通期ではドイツ長期金利は小幅上昇しましたが、イタリアは低下しました。

<外国為替市況>

ドル円は期初から円安が進行し、24年6月には一時160円台にのせました。しかしその後は日本銀行の利上げ観測もあり反転、8月初には株価急落とともに円高が加速し、一時140円を割り込みました。年末にかけ再び円安に向かいましたが、年明け後はトランプ政権発足とともにドル安が進行し、通期では円高となりました。ユーロ円は概ねドル円と同様の展開となりましたが、25年3月に発表されたドイツの大規模な財政拡大策に支えられ、通期では小幅な円高で終わりました。

当該投資信託のポートフォリオ

<当ファンド>

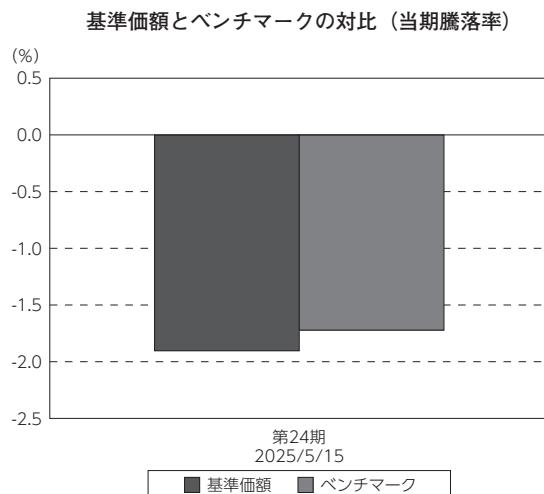
日立外国債券インデックスマザーファンドへの投資を高位に保つ運用を行いました。

<日立外国債券インデックスマザーファンド>

海外の国債を主要投資対象とします。具体的には、F T S E 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、ベンチマークに連動する収益率の実現を目指すインデックス運用を行いました。

基準価額とベンチマークの差異について

当ファンドの基準価額は前期末の26,208円からベンチマークとほぼ連動して動き、25,709円で今期末を迎えました。通期の基準価額騰落率は-1.9%となり、ベンチマーク騰落率-1.7%にほぼ追随したパフォーマンスとなりました。当ファンドから信託報酬の支払いが行われたことがベンチマークを下回る主な要因となりました。



(注) ベンチマークは、FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）です。

分配金について

運用による収益は、投資信託財産内に留保し、期中には分配を行いません。

今後の運用方針

パッシブ運用につき、投資するマザーファンドにおいては、ベンチマークに連動すべく適宜リバランスを実施してまいります。

お知らせ

2025年4月1日に「投資信託及び投資法人に関する法律」第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

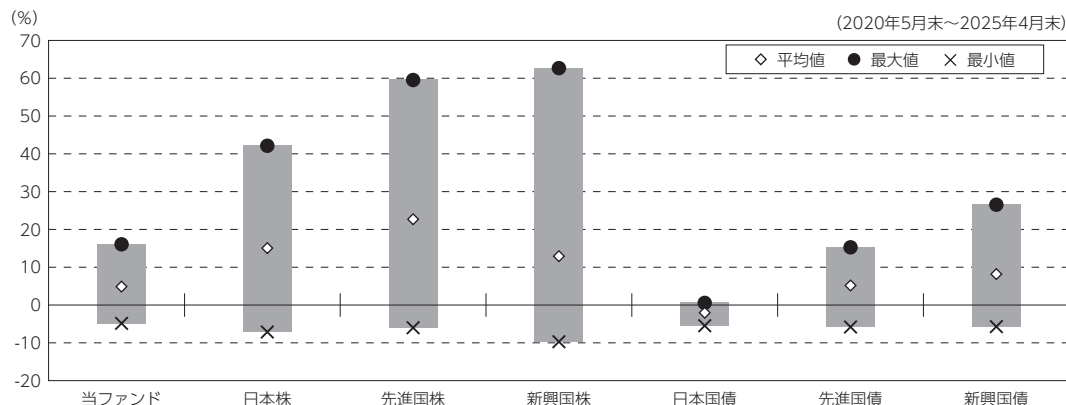
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券／インデックス型	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	ベンチマークの動きに連動する投資成果を追求することにより、中長期的に投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	日 立 外 国 債 券 インデックスファンド	次の日立外国債券インデックスマザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	日 立 外 国 債 券 インデックス マザーファンド	国際機関債およびわが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
運 用 方 法	日 立 外 国 債 券 インデックスファンド	株式への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	日 立 外 国 債 券 インデックス マザーファンド	株式への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	期中には分配を行わず、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。	

(参考情報)

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(当該ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率 (%))

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国国債	新興国国債
平均値	4.9	15.1	22.7	12.9	△ 2.0	5.2	8.2
最大値	16.1	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	26.5
最小値	△ 5.0	△ 7.1	△ 6.0	△ 9.7	△ 5.5	△ 5.8	△ 5.7

* 2020年5月から2025年4月の5年間の各月末における1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

* 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

* 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国国債・・・FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国国債・・・JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、各指数を基に、日立投資顧問が計算したものです。また、為替ヘッジなしによる投資を想定して円換算しております。

(注) 各指数等に関する著作権等の知的財産権は、開発元もしくは公表元に帰属します (東証株価指数 (TOPIX)：株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社、MSCI コクサイ・インデックス及び MSCI エマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、NOMURA-BPI 国債：野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社、FTSE 世界国債インデックス：FTSE Fixed Income LLC、JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド：J.P.Morgan Securities Inc.)。なお、各社は当ファンドの運用に関し一切責任を負いません。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2025年5月15日現在)

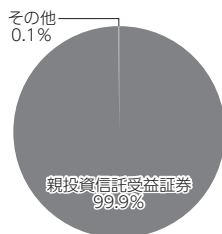
○組入(上位)ファンド(銘柄)

銘 柄 名	第24期末
日立外国債券インデックスマザーファンド	% 99.9
組入銘柄数	1銘柄

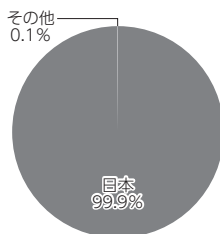
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

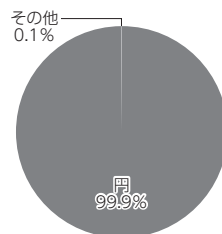
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項 目	第24期末
	2025年5月15日
純 資 産 総 額	16,725,967,729円
受 益 権 総 口 数	6,505,797,190口
1万口当たり基準価額	25,709円

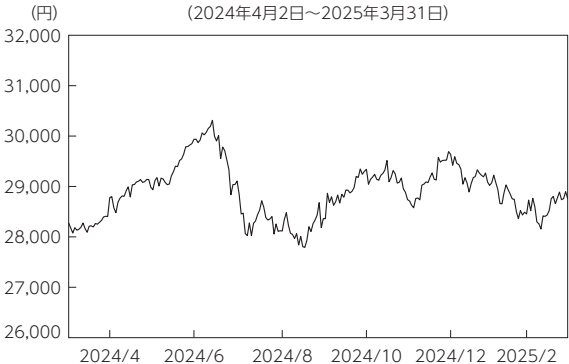
(注) 当期中における追加設定元本額は985,824,003円、同解約元本額は1,593,638,816円です。

組入上位ファンド(銘柄)の概要

日立外国債券インデックスマザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年4月2日～2025年3月31日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年4月2日～2025年3月31日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	6	0.021
(保 管 費 用)	(6)	(0.021)
(そ の 他)	(0)	(0.000)
合 計	6	0.021
期中の平均基準価額は、28,908円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2025年3月31日現在)

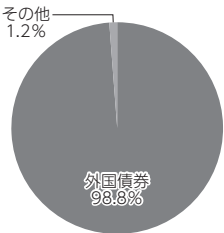
銘 柄 名		業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率
					%
1	US TREASURY N/B 4.375% 2034/5/15	国債証券	米ドル	アメリカ	0.5
2	US TREASURY N/B 4% 2034/2/15	国債証券	米ドル	アメリカ	0.5
3	US TREASURY N/B 0.75% 2026/3/31	国債証券	米ドル	アメリカ	0.5
4	US TREASURY N/B 1.625% 2026/5/15	国債証券	米ドル	アメリカ	0.5
5	US TREASURY N/B 4.625% 2026/6/30	国債証券	米ドル	アメリカ	0.4
6	US TREASURY N/B 0.875% 2030/11/15	国債証券	米ドル	アメリカ	0.4
7	US TREASURY N/B 3.375% 2033/5/15	国債証券	米ドル	アメリカ	0.4
8	US TREASURY N/B 0.75% 2026/4/30	国債証券	米ドル	アメリカ	0.4
9	US TREASURY N/B 4.25% 2026/11/30	国債証券	米ドル	アメリカ	0.4
10	US TREASURY N/B 3.875% 2033/8/15	国債証券	米ドル	アメリカ	0.4
組入銘柄数		822銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

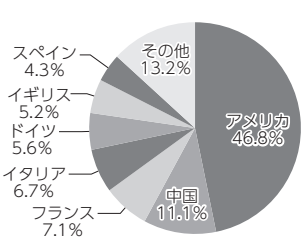
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

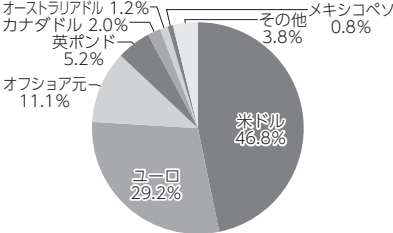
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

